



力強く踏み込め夢の世界へ

7月25日 東海大学陸上駅伝部陸上クリニック

9月定例会・臨時会
令和7年度決算認定
一般質問
議会の動き

2～ 6
8～ 9
11～16
17～19

議会だより、定例会一般
質問動画は、西伊豆町
ホームページでもご覧に
なれます。



自家給油所整備へ

開催期間	9月2日から9月11日まで
審議した案件	町長提出議案 5件 報告 4件 認定 7件 諮問 2件
可決した議案	西伊豆町手数料徴収条例の一部を改正する条例案について 西伊豆町温泉管理条例の一部を改正する条例案について 西伊豆町一般会計補正予算（第5号） 西伊豆町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 西伊豆町一般会計補正予算（第6号） 令和7年度一般会計ほか6会計の決算認定 人権擁護委員候補者の推薦 2件

こんなことが、決まりました。

※問答の一部は7月21日及び8月18日議会全員協議会での説明・質疑をもとに編集しました。

手数料徴収条例の一部改正 (全員賛成)

住民票の写しや印鑑証明、税証明、公図の複写・閲覧などの手数料を、現在の200円から300円に改定します。住民票の写しと印鑑証明は、役場窓口では300円となりますが、コンビニ交付は200円のまま据え置きます。また、住宅用家屋証明は200円から1300円に改定します。新料金は9年4月1日から適用されます。

問 今回の料金改定による増収はどのくらいか。

答 概算で年間約50万円の増

収を見込んでいます。ただし、増収そのものが目的ではなく、県内や近隣自治体との料金水準の整合を図ることが主な理由です。

問 住宅用家屋証明が200円から1300円と大きく上がる理由は。

答 住宅用家屋証明は、住民票などと異なり、家屋の内容を確認する審査事務が必要です。人件費などを含め、全国的に1300円程度が一般的な水準となっているため、今回県内他市町と同水準に見直します。

問 コンビニ交付は200円のままなのか。

答 コンビニ交付は据え置きます。

温泉管理条例の一部改正 (全員賛成)

燃料費や物価の高騰などを受け、温泉料金を見直します。温泉委員会の答申を踏まえ、堂ヶ島温泉は5%、宇久須温泉は25%値上げし、祢宜ノ畑温泉は据え置きます。主な改定では、宇久須温泉の自家用料金が7150円から8937円、営業用が1万3970円から1万7462円となります。新料金は9年4月1日から適用されます。

自家給油所整備事業内容

【整備目的】 ①燃料供給機能維持確保 ②災害時を想定した燃料備蓄の確保

【施設規模（タンク規模）】 ガソリン5kℓ、軽油8kℓ、灯油5kℓ

【利用方法】 普段利用：ガソリンは町の公用車、軽油はスクールバス、クリーンセンターの建設機械、灯油は温泉加温施設に活用 災害時利用：住民に無償配布

【設置場所】 町民運動場付近（田子）

問 なぜ今回、温泉料金を値上げするのか。

答 7年度は約816万円の黒字が見込まれましたが、燃料費や物価の高騰により、8年度は約465万円の赤字の見込みです。料金改定により約551万円の収入増となり、約86万円の黒字に改善する見込みです。

問 現在の料金は、いつから続いているのか。

答 宇久須温泉では、約40年前の昭和61年から基本的な料金体系を変更しておらず、今回が初めての本格的な料金改定となります。

問 値上げによって利用者が温泉の利用をやめる可能性はないのか。

答 やめる方が増えれば収入が減るため、温泉委員会でも慎重に検討しました。

一方、現在の経費では料金を据え置いたまま事業を維持することが難しいため、今回の改定が必要との判断です。

問 今回改定した温泉料金は、今後何年間続くのか。

答 期間を定めた料金ではなく、次に条例を改正するまで適用されます。今後、経

費の増加や利用者の減少などで収支が悪化した場合には、再度料金を見直す可能性にあります。

一般会計補正予算（第5号） （全員賛成）

歳入歳出それぞれ3億298万2千円を追加し、総額81億514万5千円としました。主な事業は、災害時の燃料確保に向けた自家給油所整備1億3915万円、前年度決算剰余金の財政調整基金への積立て1億3200万円、企業版ふるさと納税を活用した海藻生産試験業務1518万円、大浜児童公園フェンス改修420万円、空き家入居支援事業補助金300万円増額、アンバサ

ダー活動謝礼50万円、移住定住推進業務委託140万円、大田子地区の既設暗渠損傷調査320万円などです。

問 文教施設等整備委員会は、どのような構成で何回開催するのか。

答 区長連絡協議会推薦4人、保護者7人、学識経験者3人、園・校長5人の計19人で、9年3月までに5回程度の開催を予定しています。委員は全員町内の方を予定しています。

問 アンバサダー活動謝礼50万円の内訳は。

答 1人1回5万円、5回を予定し、2人分で50万円を計上しています。イベントやPR活動の内容によって変更する場合があります。



自家給油所建設予定地（町民運動場付近）

問 地域プロジェクトマネージャー任期満了後の移住定住業務は。

答 現在の担当者が立ち上げたNPO法人に、12月1日から翌年3月31日までの4カ月間、移住相談やお試し住宅管理、情報発信、空き家バンク登録促進などの業務を委託する予定です。翌年度以降は今後検討します。

問 税務関係の印刷製本費が増額となった理由は。

答 エネルギー価格や原材料費、人件費の上昇により印刷費が値上がりしたことに加え、固定資産税納税通知書のシステム標準化に伴う支払い時期の変更があり、合わせて74万8千円が必要になりました。

問 大田子地区の既設暗渠損傷調査320万円は、すでに職員が内部を確認しているのであれば、調査をせず直接修繕することはできないのか。

答 職員による確認では腐食や穴があることは把握していますが、専門的な調査ではなく、勾配や流量を含めて適切な工法を検討する必要があるため、詳細調査を行います。

問 自家給油所の整備費1億3915万円は、何のための事業か。

答 災害時に必要な燃料を確保するため、自家給油所を整備するものです。8年度から9年度までの2カ年で

実施する予定です。

問 自家給油所整備の財源は。

答 国の「SS承継等に向けた取組支援補助金」として7500万円を見込んでいます。補助対象経費の上限1億円に対し、3/4が補助されます。

問 海藻生産試験業務1518万円の財源は。

答 事業に賛同した事業者から、企業版ふるさと納税として1518万円の寄付を受け、事業費に充てます。

問 空き家入居支援事業補助金の300万円増額理由は。

答 今年度の利用が例年より多く、すでに当初予算の74%を執行しているため、今後の申請に対応できるよう増額します。

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(全員賛成)

歳入歳出それぞれ5099万6千円を追加し、総額12億

5999万6千円としました。主な内容は、令和7年度からの繰越金5099万6千円を基金へ積み立てるものです。また、子ども・子育て支援金制度に対応するシステム改修は、国から352万円の補助金が交付されることとなったため、一般会計からの繰入金を同額減額し、財源を変更しました。

一般会計補正予算(第6号) (全員賛成)

歳入歳出それぞれ283万円を追加し、総額81億797万5千円としました。主な内容は、黄金崎クリスタルパークの浄化槽修繕工事の着工が遅れていることで汚泥の引き抜きなどの経費250万円と、松崎高校の魅力化に向けた先進地視察費33万円です。

問 黄金崎クリスタルパークの浄化槽関係経費250万円は、どの程度の期間を算出したのか。



宇久須温泉集中加熱施設

答 7月から10月末までの汚泥の引き抜き費用を見込んでいます。通常の汲取は年1回程度ですが、設備の損傷により大幅に回数が増えています。工事は10月上旬ごろに着手し、10月末までの完了を想定しています。

問 松崎高校の魅力化に向け、何を視察し、今後どのように生かすのか。

答 愛媛県立今治西高等学校伯方分校を視察し、全国からの生徒募集や給食、特色ある教育コース、寮などの取組を学びます。松崎高校は今年度の入学者が20人以下となっており、今後の存続が課題です。県立高校の

ため取組の効果や県の対応は現時点では分かりませんが、先進事例から知見を得ながら、町としてできる限りの取組を進めていく考えです。

人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成)

任期満了に伴い、金刺貴彦氏を再任候補者として適任と認めました。

前任者の任期満了に伴い、山本明美氏を新たな委員候補者として適任と認めました。

任期は令和9年1月1日から令和11年12月31日までです。



かねざし たかひこ
金刺 貴彦 氏 (中)



やまもと あけみ
山本 明美 氏 (仁科)

第3回臨時会 令和8年6月23日

西伊豆町税条例の一部を 改正 (全員賛成)

地方税法等の一部を改正する法律が3月31日公布、4月1日施行されたことに伴い西伊豆町税条例の一部を改正しました。主な改正として、固定資産税の特例措置として「地域決定型地方税制特例措置（通称：わがまち特例）」の太陽光発電や水力発電、バイオマス発電、風力発電など7項目の発電設備の特例割合を2/3から1/2などに改正するもので、8年度から3年度分軽減します。

問 町の実情に応じて税率を自由に定められる制度であるが、発電方式の問題点などを考慮した税率か。

答 発電設備などを開発・推進するため、国が標準的な目安として示す割合に合わせて適用しています。

西伊豆町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正 (全員賛成)

国家公務員災害補償法に基づく葬祭補償の額が改定されたことに伴い、政令において非常勤消防団員等の葬祭補償の額の改定が行われています。本町の条例も全国の自治体同様に改正するものです。

問 葬祭費用に該当するものは何か。

答 遺族等が葬祭を行った場合に、町が掛けている消防団員等公務災害補償等共済基金から、条例で定める算定基準に基づき町に補償金が支払われ、町から遺族に対して全額支給されます。

一般会計補正予算(第3号) (全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ1150万円を追加し、予算総額は77億6434万2千円としました。歳入は、国庫補助金1151万2千円と繰入金1万2千円の減です。

歳出は、農林水産業費500万円、諸支出金650万円で

す。地方公共団体交付金は、水産業振興総合推進事業費補助金の交付決定を受け、海業フィールドガイドの人材獲得や育成に向けた業務を委託します。補助率は10/10です。

問 海業フィールドガイド養成の事業内容と人材確保の見込みは。

答 地域の海、漁港、漁村、漁業、魚食、自然環境などの資源を把握し、その魅力を活用した海業コンテンツを実際に企画運営できる人材を育成します。また海業を地域内で継続的に展開していく実務人材と位置づけ、人材はこれから探します。

問 人材が見つからなかった場合は。

答 予算の返還や他の活用方法を考えることで検討しています。

問 事業の委託先は。

答 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンを考えています。これまで取り組んできた漁業者の移住の取組である「西伊豆&ANGLER」を、また人材育成はNPO法人西伊豆みらい創造に委託し、海業の取組や漁業者との関わりから観光客への対応を実践的に学んでいただく方式です。

第4回臨時会 令和8年7月21日

一般会計補正予算（第3号） （全員賛成）

歳入歳出にそれぞれ3782万1千円を追加し、予算総額は78億216万3千円としました。

歳入は、国庫補助金2279万2千円と繰入金1502万9千円です。主な歳出は、農林水産業費142万9千円、商工費150万円、消防費3419万2千円です。

商工費の商工会家屋等解体事業補助金は、6月末の時点で予算額に達しており、今後の申請を見込んで、補助金上限額30万円の5件分を追加したいものです。防災対策費は宇久須地区津波避難タワー建設に関する経費として、調査業務費、設計業務委託費、用地購入費です。

問 近接する既存ボーリング

データから、想定される地形の平坦性や起伏は。

答 住民防災センターを建てる際に基礎調査を行った40.5mと47.5mのボーリングデータですが、地形的に平坦で急激な落ち込みはないと考えます。

問 国土交通省の地質調査業務共通仕様書では、既存ボーリングデータが50m以内に存在し、地質構造が連続的である場合、既存資料を活用し、追加調査は原則として実施しないと定められているが。

答 本孔55mは、地層の構成や地盤の固さを測り、全体的な地盤状況を把握するものです。別孔10mは、湧水の心配があり乱さない状態のサンプリングデータを取るため、1m離して行います。

問 本孔と別孔は同一穴で施工できるのでは。

答 施工メーカーから別孔は本孔の近くで掘った方が良く提案されました。



宇久須津波避難タワー建設予定地（浜地区）

監査委員からの意見書

令和7年度 監査委員意見書（抜粋）

監査委員 山地 純正・磯 清彦

審査結果

審査に付された各歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており誤りのないものと認められた。担当課長（局長）等の説明を受け審査を実施した結果、内容も正当なものであった。

一般会計

国民健康保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

介護保険事業特別会計

サンセットコイン事業特別会計

指摘事項

各課（局）共通

〈人事案件について〉

町の業務は専門性が高く、高度な知識・技術を要するため、当該業務を継続かつ安定的に担える人材の育成及び職員各自がスキルアップに努めることが重要である。そのため、専門性の継承・向上の観点から、人事運用（異動・配置）に十分配慮されたい。

また、現在は一般職が技術的業務を担う割合が高いが、今後は技術職員の必要性が一層高まることが見込まれることから、町当局において中長期的な視点で専門知識と経験を蓄積できる人材の確保・育成に努められるよう要望する。

〈監査調書の作成について〉

監査調書の作成にあたっては、数字誤りや予算の失念、前年度文章が残っているケースが散



代表監査委員の報告

見される。記載誤りを防ぐために、監査調書の提出前に内容を十分に確認すること。また、記載された数字の根拠となる資料は用意しておくこと。

水道事業会計

水道は、住民の生活を支える重要な事業であり、観光産業にとっても最重要要素の一つである。

令和7年度は、純利益は増となっているが、少子高齢化や、人口の減少は進み、今後も利用者の減少による収入減が懸念され、電気料金や資材の価格高騰により、経営環境は、年々厳しくなることが予想される。今後もさらなる経営の効率化や経費削減と共に施設の省エネ・老朽化対策や耐震計画を立て着実に対策を講じ、経営の健全化と安全な水の安定供給の維持を引き続きお願いしたい。

温泉事業会計

観光立町である当町にとって温泉は欠くことのできない資源である。年間給湯量は減少傾向にあり、今後も給湯需要の減少が予想される。このため、施設の維持管理を徹底させ長寿命化を図り、機械設備の省エネ化を推進し経費削減に努めると共に、老朽化している温泉配湯施設の整備を計画的に実施し、安定的な配湯と持続的な事業運営を引き続きお願いしたい。

令和7年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計 形式収支3億8734万2250円の黒字。
歳入総額80億3693万3146円、歳出総額76億4959万896円、
繰越明許費（来年度に残すべき事業費）2450万9千円。
財政調整基金の取り崩しはありませんでした。

一般会計 (全員賛成)

前年度と比べて歳入は道路や防災にかかる社会資本整備総合交付金が増え、観光地域づくり整備事業費補助金やふるさと応援寄付金が減りました。歳出は津波避難タワー等整備工事や安良里漁港浚渫工事、情報システム標準化に伴う経費が増えた一方、水門や陸閘の維持管理費が減ったことが要因となっています。



順調に移住者が増えています

問 公衆Wi-Fiシステムのサービス終了に伴う次期システム及び機器の購入とは。

答 既存のサービスが8年3月に終了するため、新たにシステムと通信機器を入れ替えました。またアクセスポイント30カ所の機器を入れ替えました。

問 「西伊豆&ANGLER」の成果が上がっている要因は何か。

答 元々漁業をやりたいという明確なビジョンを持っている方に来ていただい

ます。漁協の組合員になって、船を持つというところまで町が手厚く対応していることが高い移住率につながっていると考えます。

問 ふるさと納税の増額を図るためのプロジェクトチームの活動内容は。

答 7年度は8月から年度末まで22人でプロジェクトチームを作りました。返礼品紹介ページの刷新や事業所訪問、サムネイルの更新、PRイベント参加などの活動を行いました。

問 町有林整備での素材搬出は1319m³だが、民有林整備での搬出は。

答 搬出は1497m³です。

問 定住促進奨学金返還支援金の応募状況は。

答 7年度は2人の応募がありました。

問 EV車両の燃費削減効果の検証は。

答 1月購入なので年度内には検証できていません。

国民健康保険特別会計 翌年度繰越金5097万7千円。

歳入総額10億5765万8千円、歳出総額10億668万1千円。

後期高齢者医療特別会計 翌年度繰越金68万9千円。

歳入総額3億4828万9千円、歳出総額3億4760万円。

介護保険事業特別会計 翌年度繰越金1億3063万5千円。

歳入総額13億4326万9千円、歳出総額12億1263万4千円。

国民健康保険特別会計
(全員賛成)

問 前期高齢者が医療費を押し上げているのか。

答 加齢に伴い医療費は上がっています。被保険者の年齢構成は65歳以上の割合が55.1%です。一人当たり費用額は県内で最も高く入院費用も高くなっています。フレイル予防や、保健師訪問など医療費の削減や適正化に努めています。

後期高齢者医療特別会計
(全員賛成)

問 後期高齢者人口の増加に伴って医療費や介護給付費が増加するが町の分析は。

答 後期広域連合の保険料は全県下統一です。当町で努力しても全体が上がれば保険料は上がります。引き続き保健師を中心とした介護予防事業を行い医療費削減につなげていきたいと考えています。

介護保険事業特別会計
(全員賛成)

問 前年度までと比べて要支援1、要支援2の受給者の延べ人数の増え方が多いが要因は。

答 全体的に高齢化が進んだことによると考えます。

問 認知症初期集中支援チームの支援を必要とする人はいなかったのか。

答 高齢者訪問や民生委員の訪問により、この仕組みは使いませんでした。

サンセットコイン事業特別会計	差引金額	0円
水道事業特別会計	純利益	4008万3170円
温泉事業特別会計	純利益	815万9013円

サンセットコイン事業特別会計
(全員賛成)

問 5%還元キャンペーンの利用額6000万円に過疎対策事業債を充当しているか。

答 還元されたポイントに充当しています。

問 町の負担は。

答 事業債1620万円と一般財源2839万3702円を加えた4459万3702円です。

水道事業会計
(全員賛成)

問 流動負債の未払金が、8400万円ほどある。去年と比較してかなり多いが要因は。

答 7年度は工事が多く、完成後の請求が3月に入ってからのもがありました。これらの支払いは4月以降となるため未払金に計上しているためです。

温泉事業会計
(全員賛成)

問 未処分利益剰余金を利益積立金へ積み立てたのはなぜか。

答 温泉会計は今後経営が厳しくなることが見込まれるため、赤字などが生じた場合に、補填するためです。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤主祐	土本直矢	中島健	磯清彦	河内ひとみ	山本豊	加藤タツ子	浅賀元希	仲田慶枝	高橋敬治	議決結果
第3回臨時会	西伊豆町税条例の一部を改正する条例案 [上位法令改正によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案 [関係法令改正によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町一般会計補正予算(第3号) [1150万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第4回臨時会	西伊豆町一般会計補正予算(第4号) [3782万1千円増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
9月定例会	西伊豆町手数料徴収条例の一部を改正する条例案について [手数料を変更するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町温泉管理条例の一部を改正する条例案について [温泉料金を変更するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町一般会計補正予算(第5号) [3億298万2千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	西伊豆町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) [5099万6千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和7年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度サンセットコイン事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和7年度温泉事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	人権擁護委員候補者の推薦について(2名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適任
	西伊豆町一般会計補正予算(第6号) [283万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

議長(高橋敬治)は採決に加わりません。

障がい者の就労支援は

(町長) 雇用の拡大に努めていきます



なか じま 中 島 健 議員

質問 障がい者の就労支援の周知や体制の充実を、どのように取り組む考えか。

町長 障がい者の就労相談は、県、賀茂郡内1市5町、「賀茂障害者就業・生活支援センターわ」、ハローワーク、各作業所、相談事業所、医療機関が連携し、賀茂地区障害者自立支援協議会就労部会において、就労支援の協議を行っています。ハローワーク下田管内の7年度の紹介件数が146件と過去最多となり、障がい者雇用は着実に進展しているとの報告がありました。引き続き関係機関と連携し、障がい者雇用の拡大に努めていきます。

労部会において、関係機関と連携しながら、これらの課題解決に向けて協議を重ね、支援体制の一層の充実を図っていきます。

危険箇所の把握は

地区要望で

質問 避難路沿いにある落石や崩落の危険箇所をどのように把握しているのか。

町長 危険箇所が発見された場合は、地区要望として提出され把握しています。

質問 各避難路の対応は区長などを通して対応するとい

うことだが、改善されない場合は、どのような対応をしているのか。その後の経過を確認する仕組みはあるのか。

防災課長 要望があれば区長さんと現場を確認して、どのような対策ができるのか協議をします。誰が対応すべき財産なのかを整理し、町で対応できない場合は、その旨を区長に回答しています。町が土地所有者に連絡をとって、お願いをすることもありますが、ケースバイケースです。

一般就労に向けた課題は

支援体制の充実を

質問 一般就労に向けた課題を解決するために、今後どのような支援や取組を進めていく考えか。

町長 今後は、引き続き、就



町道、私道に限らず、町内の避難路の安全性は



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

小学校におけるフッ化物洗口は (町長) 教員の業務負担の増加になる

質問 医学的にはフッ化物洗口により永久歯のむし歯が27%減少すると確認されている。こども園では週5日のフッ化物洗口がほぼ全員に実施されているが、小学校では年2回のフッ化物塗布の実施となっている。希望者のみの塗布で76.8%の実施にとどまる。小学校でもフッ化物洗口にすれば希望者が増えるのではないかと。

町長 1970年代からフッ化物への強い反対運動があり、教員組合の慎重な姿勢が定着しました。フッ化物によるむし歯予防は必須の教育活動ではなく教員の業務負担を増加させるわけにはいきません。学習指導要領にはありません。

質問 洗口に変えれば塗布を希望していない23.2%の子どもたちも抵抗ないのではないかと。

町長 口腔の健康づくりの基本は各家庭における毎日の取り組みと考えています。

堂ヶ島景観計画策定は

地域景観ミーティングで

質問 8年度予算にある堂ヶ島観光地エリア景観計画策定業務の進捗状況は。

町長 6月に策定業務の委託契約を締結し、今は計画策定の準備中です。現状や課題、整備改修など地域の意向を把握するための地域景観ミーティング及び主要箇所の整備構想案を協議する検討委員会の設置に向け構成員の選定を行っています。

質問 観光DMOの設立と関連性を持たせるのか。

町長 観光DMOは地域と連携し観光地域全体をマネジメントすることを検討しています。両者は堂ヶ島の景観を観光資源として活かし、観光振興につなげる点で関連性があります。堂ヶ島の魅力向上と持続可能な観光地づくりを進めます。

質問 業務委託の契約先は。

産業振興課長 町の景観計画や黄金崎公園観光地エリア景観計画にも関わった(株)地域まちづくり研究所です。



多くの観光客を呼びたい堂ヶ島観光地エリア

要配慮者の田子公民館避難は (町長) 1 階会議室及び和室へ



かわうち 河内 ひとみ 議員

質問 要配慮者が安全に田子公民館へ避難できるのか。

町長 避難に当たっては、1 階の会議室及び畳敷きの和室を中心に避難所を開設しています。また車いすなどの要配慮者の避難も、1 階へ避難するよう、使い分けて運営をしています。

質問 田子公民館の高温になる階段の手すり、滑りやすいスロープ、段差や、洋式トイレの手すり、便座の低さなど、町はどのように認識しているか。

町長 講堂に上がる外側のスロープや手すりなど、簡易的に対応できるものは改善を検討します。

質問 危険箇所の認識はあるということだが、具体的にどのように改善していくか。

町長 住民の多くの方が利用される場所を優先的に行っています。現在、田子公民館をいつどのタイミングで何をというような計画はありません。

シルバーリハビリ体操は 利用が適当な方に限定

質問 シルバーリハビリ体操への新規参加者や単身高齢者が参加しやすくなるように、町ではどのような取組を検討しているか。

町長 シルバーリハビリ体操の対象者は、要支援者や事業対象者のうち、介護予防ケアマネジメントにより利用が適当と認められた方に限定しています。

※サロンで実施しているシル

バーリハビリ体操はどなたでも自由に参加できます。

質問 指導士を今後増やすための町の取組は。

町長 講習会は参加しやすい日中に開催をしています。見学の機会を設けるなど、活動の理解と関心を深めていただく取組を進めています。

質問 シルバーリハビリ体操は通所型Aとしても重要な役割を担っている。その効果測定方法と見える化対策は。

町長 教室終了時に指導士などが体操ノートを活用して個別に説明しています。



西伊豆町シルバーリハビリ体操



つちもと なおや
土本直矢 議員

文教施設候補地の住民理解は (町長) 議会の賛否が民主主義上の理解

質問 文教施設候補地が最適な判断は、津波浸水想定区域外を含む複数の候補地を計画決定後でなく、候補地や規模を変更できる段階で住民の意見を聞く必要は。

町長 文教施設等整備委員会での議論の後に、住民説明会を行えればと考えています。最終的には住民の代表である議会の賛否が民主主義上の理解が得られたに該当すると考えています。

なぜ浸水区域内を選ぶのか

妥協もしなければ

質問 災害リスクを回避できる区域外に候補となり得る土地がある中で、なぜ将来にわたり津波対策を要する区域内を選ぶのか。

町長 通園通学に時間がかかる場所であったり、へんぴな場所で、安全性が確保されたとしても、津波浸水想定区域内で良いと妥協もしなければいけないということもあります。

園児及び児童の推計は

25年後は107人に減少

質問 出生数、園児及び児童数の推計、施設面積と一人当たりの事業費の見込みは。

町長 0歳～14歳の状況は、7年の290人から、25年後の32年では107人に減少と予想しています。園・小学校などの複合施設は、災害時の避難所の機能を備えるため、子どもの数が少ないからといって、安易に規模は縮小すべきではありません。

財政シミュレーションは

お答えできかねます

質問 今後予定される大型事業は、財政シミュレーションを行い総合的に管理しているのか。

町長 事業が組まれるまで総事業費、どの程度の補助金や起債が組まれるかは分かりません。中途半端な金額を申し上げた後、指摘されても困りますので、確実でない数字をお答えすることはできかねます。



津波浸水想定区域内の文教施設候補地

事業見直し判断の基準は

(町長) 総合計画の成果指標により



あさ か もと き
浅賀元希 議員

質問 PDCAサイクルによる事業評価の結果を、事業の継続、改善、縮小、廃止の判断にどのような基準で反映しているのか。

町長 決算における成果と課題を踏まえ、各事業の実績を、西伊豆町総合計画の成果指標により比較検証し、結果を踏まえ、事業の効果と財源の優先度を総合的に勘案し、判断しています。

質問 評価結果に基づいて廃止・縮小した事業の具体例はどのようなものか。

総務課長 ハード面では、旧校舎などの利用の廃止や機能の移転問題です。またソフト面では、首都圏などで実施していた観光誘客事業などを廃止しました。廃止した判断基準は、費用対効果をはじめ多角的な評価で、十分に検証し、適切に判断しました。

町長 駅での、ノベルティ配布による観光PR事業を、冠試合に振り替えました。

フッ化物洗口の課題は

安全管理上の不安

質問 フッ化物洗口は、継続的な実施がむし歯予防につながる取組とされている。小学校などで実施する場合の課題認識は。

町長 実施の場合、児童・生徒への対応や安全確認、実施後の管理などは、養護教諭・支援員などが対応を求められる場面が増え、教員が本来担うべき教育活動以外の業務に時間を割かざるを得ないとの懸念がありま

す。さらに薬剤を学校、特に保健室で管理・保管することに、安全管理上の不安があるほか、保護者への十分な説明と同意の確認が不可欠であることを課題としています。

質問 健康寿命の延伸と医療費・介護保険給付費を抑制するために今後どのような姿勢で、歯と口の健康づくりを推進していくのか。

町長 歯の8020運動は承知しています。これまでも実施している広報紙やサロン事業での啓発活動を今後も続けていきます。



認定こども園でのフッ化物洗口の様子



かとう こ
加藤 タツ子 議員

士業のオンライン申請は (町長) 現時点では導入はない

質問 定額小為替を利用した郵送請求は、現在高齢化の進展に伴う相続人調査依頼の増加や空き家の増加に伴う戸籍謄本などを郵送で請求する際、手数料として定額小為替の同封が必要となっている。士業（司法書士や弁護士など）のキャッシュレス決済によるオンライン申請手続きの構築を本町でも進めるべきと考えるが。

町長 司法書士や弁護士が請求するキャッシュレス決済によるオンライン申請手続きは、本人・士業・自治体の三者がオンライン上で事前に確認作業や様々なデータのやり取りが発生するため、郵送請求よりも時間と手間がかかることもありますので、現時点では導入の見通しはありません。

質問 静岡市では2026年8月1日から個人や事業者などからの郵便交付請求は、キャッシュレス決済を導入しました。このように支払い方法の選択肢を広げることで、請求者の利便性向上と事務の効率化を図ることができると考えるが。

窓口税務課長 郵送請求のキャッシュレス化は有効であると考えます。個人の郵送請求は対応していますので、件数は今後増えていくと予測しています。町も技術的には可能ですが、静岡市と本町では、職員数や、

体制が違いますので十分に考える必要があります。効率化を考えれば郵送請求と電子請求を混在すると、受け入れ側の間口も広がるという実態もあります。士業側も現在の状況は支払いの定額小為替がキャッシュレス化になるというところまでで、それ以外は今までどおり、郵便局に行って、申請書を送るなど変わっていない実情もありますので現在の段階では、構築が難しいと考えています。



申請業務を行う窓口職員

議会の動き

第 1 常 任 委 員 会 報 告

7月10日9時より窓口税務課・13時より健康福祉課の所管事務調査を行いました。

窓口税務課

- ①窓口年金係：人口の減少率は県、国と比較して著しく高く、外国人は増加傾向です。職員数も減少する中、今後はワンストップ窓口、オンライン申請の推進、コンビニ交付の促進、出張所業務の見直しなど効率化を図りつつ、外国人にはタブレット翻訳など、サービスの維持を確保します。
- ②課税係：人口減少による税収の減少、所有者不明の土地や相続未登記の増加、職員不足による専門知識の継承困難と担い手不足などが課題となっています。適正課税の徹底や相続登記の促進、さらに計画的な職員の育成が重要となっています。
- ③納税徴収係：徴収実績が落ちています。滞納処分が多額をかけるわけにはいけないので年間計画を立てて対策を講じています。
高齢化により窓口での相談時間が長くなるようになり、丁寧な対応のためにも、より一層業務改善が必要となりました。

健康福祉課

- ①移動支援：せいかつ応援倶楽部事業、生活支援体制整備事業を社会福祉協議会に委託。
- ②こども家庭センター：各係連携して児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談支援を実施。
- ③フッ化物洗口：こども園児は週5日のフッ素洗口、小学生は年2回のフッ素塗布を希望者に実施。
- ④不妊・不育症治療費助成：4年度から保険適用となったことに加え、7年度より町独自の助成内容を見直し。
- ⑤母子保健事業：1歳6カ月・3歳児健診は8年度から西伊豆町・下田市・南伊豆町・松崎町で共同実施。
- ⑥医療保険係：国民健康保険、後期高齢者医療の現状。
- ⑦介護保険係：コロナ禍で減少した認定者数が上昇傾向。
本町は少子高齢化の最前線でした。

第1常任委員長 仲田 慶枝

合 同 常 任 委 員 会 報 告

認定こども園建設候補地に関する調査および意見集約を目的に8年度に3回にわたり検討しました。

8月5日に議長に報告書を提出、同日に議長から町長に提出されました。

【委員会の活動状況】

- ①4月9日：教育委員会からの認定こども園候補地選定の概算建築比較一覧の提出と説明。
- ②4月20日：意見集約
- ③6月23日：行財政係による財政シミュレーションの説明。意見集約。
- ④7月13日：沼津市静浦小中一貫校ピロティ構造の視察。

- ⑤7月21日：再び財政シミュレーションの説明。意見集約。

【報告まとめ】

概算建築費比較一覧14パターンのうちピロティ構造で、園及び小学校ならびに防災・情報管理機能を併せて整備する案に賛成する者が最も多かった。

第1常任委員長 仲田 慶枝

第 2 常 任 委 員 会 報 告

7月9日9時より企業課の所管事務調査を行いました。

企 業 課

(1) 【宇久須地区】

宇久須地区送配水管耐震化工事

(5カ年計画)

宇久須第一水源→宇久須配水池→文教施設(避難所・救護所)までの水道管路を全て、耐震化し、今年度は発電機も更新します。これにより有事の際、文教施設で水が利用できるように整備していきます。

(2) 【安良里地区】

安良里地区送配水管耐震化工事

(5カ年計画)

立野水源から赤地山配水池までの管路を全て耐震化します。来年度末には、有事の際でも安良里診療所・あらし薬局・消防団詰所・避難所・交番は水が利用できるように整備していきます。

(3) 【安良里地区→田子地区】

災害時田子地区緊急連絡管布設工事

(5カ年計画)

有事に備え新たに安良里赤地山配水池から、田子高区配水池へ水を送るための耐震管布設工事を行います。今年度は安良里浦上地区国道の歩道沿いに耐震管700mを布設します。

第2常任委員長 加藤タツ子



安良里立野水源

静岡県市町議会議員研修報告

7月27日に静岡市の「グランシップ」で、静岡県市町議会議員研修会が開催されました。

「人口減少時代の課題にどう取り組むか地方議会に求められる役割と期待」と題し、大正大学地域構想研究所所長 片山善博氏にご講演をいただきました。

- ①人口減少におけるスマートシュリンクの必要性：賢く・複合化させる視点が必要。
- ②公共施設の統廃合とインフラ再編の課題：身の丈に合ったインフラ。
- ③シビックプライド：若者の流出を防ぐためにも、幼少期から地域を知り愛着を育む施策が必要である。
- ④エンパワーメント：誰もが能力を発揮できる社会の構築が急務である。
- ⑤地方議会への期待と検証する役割が議会に求められている。

研修を通じて人口減少という避けては通れない現実に対し、ただ危機感を募らせるのではなく、人口減少下での持続可能な仕組みづくりやまちづくりの重要性を深く認識しました。

第2常任委員長 加藤タツ子



県内市町議員が一同に

常任委員会視察研修

常任委員会で下記のとおり視察を実施しました。

オリックス資源（株）寄居工場

【視察日】 令和8年6月26日

【視察目的】 ごみ処理対策は、南伊豆地域清掃施設組合が3月に解散し、その後1市2町での事業も困難な状況となっています。このような状況の中、新たな対策を考えなければならなくなりましたので、その対策の一つとして、現在、南伊豆町が全量排出している埼玉県のオリックス資源（株）寄居工場を視察し、当町のごみ処理事業の可能性を確認しました。

なお、当日は同じ問題を抱えている松崎町の議員と合同で視察しました。

【視察概要】 施設では回収した廃棄物は、ガス溶融炉で熱分解後、ガス化や圧縮を行い、残さ物を道路路盤材などとして資源化する取組も行っています。

回収エリアは東北地方が中心ですが、東海地方の自治体からも回収を行い、南伊豆町からは週3回運搬しているほか、函南町からも一部受け入れ、災害時には災害ごみも受け入れ可能となっています。

【所感】 単にごみ処理をするだけではなく、資源化に取り込んでいることは、素晴らしいことだと感じた。

議会広報委員長 浅賀 元希



オリックス資源（株）寄居工場視察

沼津市立静浦小中一貫校

【視察日】 令和8年7月13日

【視察目的】 当町の教育施設の問題は、長年の懸案事項となっています。こうした中、旧西伊豆中学校跡地に津波対策としてピロティ工法での案が浮上してきましたので、現在ピロティ校舎を活用している沼津市立静浦小中一貫校の建設経緯と実際に活用している中での、懸念点などの話を伺うとともに、施設見学を行い、当町でピロティ工法による建設に問題がないか確認するための視察です。

【視察概要】 現地の津波想定高は6.0m、地盤高3.0m、地上4階建ての鉄筋コンクリート造で、教室・職員室は上層階に設け、平成26年4月に開校。1階にある保健室は、津波の水圧を逃がす構造となっているほか、津波対策として柱を太くするとともに、床の構造を強化している。静浦小中一貫校は10年以上経過しましたが、潮風により一部さびは出ているものの、特に目立った損壊箇所もなく将来を見据えたメンテナンスも必要なく、ピロティ工法による特別な懸念はないとのことでした。

【所感】 津波による浸水を前提として、建物への被害を最小限に抑え、上階にいる児童・生徒の安全を確保するという考え方が重要であることを学びました。地域の「津波浸水想定」や避難方法を十分に検証した上で、施設の用途や立地条件に応じた設計を行う必要があり、今後の学校施設整備を考える上で大変参考となる視察でした。

議会広報委員長 浅賀 元希



沼津市立静浦小中一貫校の視察研修の様子

一部事務組合議会の紹介

下田メディカルセンター組合

【構成自治体】 下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町

【事業内容】 下田メディカルセンター病院、付属みなとクリニック、介護老人保健施設なぎさ園

【議会の組織】 構成自治体の議会議員から各市町2人、計12人で構成。

【定例会報告】 下田メディカルセンターは、1市5町の公立病院として医療を提供しています。

9年度からの6年間、引き続き医療法人静岡メディカルアライアンスが指定管理者と決定しました。

一方、人口減少などにより、下田メディカルセンターの入院患者数は前年度比5.1%減の27,697人、延べ外来患者数は前年度比0.7%減の60,596人となりました。

みなとクリニックの診療実績は一日平均2.9人となりました。

なぎさ園の利用者数も2.8%減の24,636人となり、一日当たりの利用者数は11.6人で平均利用率58%（定員20人）となっています。

人口減少や少子高齢化に伴い医療ニーズも変化する中、医師・医療スタッフの人材確保が課題となっており、指定管理者及び関係機関と連携を強化し、県の支援を受けながら取り組んでいくと報告がありました。

【令和7年度決算報告】

純利益は3200万1892円で、前年度より2億4281万309円増加しました。

【なぎさ園補正予算】

高圧変電設備更新工事費、540万円を2カ年で計上。町の負担額は27万7千円となりました。

下田地区消防組合議会

【構成自治体】 下田市 河津町 南伊豆町 松崎町 西伊豆町

【議会の組織】 構成自治体の議会議員の中から、下田市3人、他4町2人ずつ、計11人

【組合事務所の位置】 下田市6丁目1番14号

【共同処理する事務】 消火活動 救急搬送 交通事故・水難事故などの救助活動など

【令和7年度決算報告】 収入済額15億5553万円（町負担額2億5280万円※積立金含む）
支出済額15億2764万円 収支差引2789万円（翌年度へ繰越し）

【組合の動向】 7年度、西伊豆消防署に救急車を1台新規に配備しました。下田消防署で8年度に救急車1台、9年度に救助工作車1台、西伊豆消防署で、9年度に消防ポンプ自動車1台の更新を予定しています。

下田消防本部庁舎が津波浸水想定区域内にあり、浸水想定区域外への移転を検討しています。7月には先進地事例として、すでに高台移転を実現している、和歌山県の串本町消防本部、古座消防署、那智勝浦町消防・防災センター、三重県志摩市の志摩市消防本部、磯部分署を視察しました。



下田消防本部庁舎



那智勝浦町消防センター外観及び移転に伴い整備されたヘリポート



令和8年10月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、
気軽にお聞かせください。TEL：(0558)52-1962